

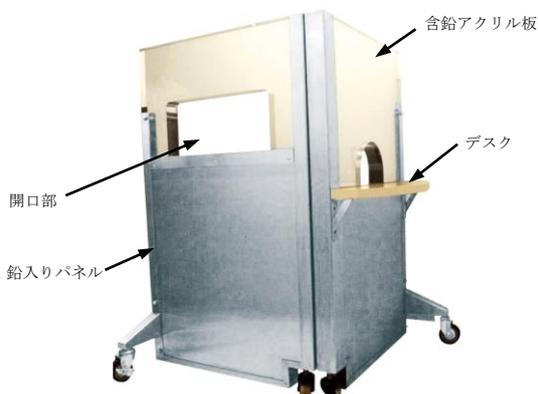
器 11 : 放射線障害防護用器具
一般医療機器 : 放射線防護用移動式バリア 38373000

FDG 投与用防護台

【形状、構造及び原理等】

- 本製品は、鉛板を埋め込んだデスクの中央部より上に、放射線を遮蔽する含鉛アクリル板の仕切りを有する対面式の防護台である。
含鉛アクリル板には、FDGの投与を受ける患者の腕を通すための開口部がある。
また、デスクより下部は鉛入りパネルとなっている。
脚部にはキャスターが付いているので移動させることができる。
- 製品を構成する「含鉛アクリル板」及び「鉛入りパネル」をX線防護バリアとする。

<外観形状(代表例)>



【使用目的又は効果】

医師等がPETを受ける患者に対しFDGを投与する際に、本製品を医師等と患者との間に設置することにより、患者に投与されたFDGが発する放射線から医師等が受ける放射線被ばくを低減することを目的とする。

【使用方法等】

- 医師等が、放射性FDGを投与する際に、本製品を医師等と患者の間に設置する。
- 患者は含鉛アクリル板の中央部の開口部に腕を差し入れて、FDGの投与を受ける。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- 可燃性の含鉛アクリル板を使用しているため、保管および取り扱いは着火源から離れたところで行うこと。また、アルコール性物質により変質する可能性があるため、清拭の際は注意すること。
- 殺菌灯の照射は、表面の劣化の原因となることがあるため、避けること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法：常温・常湿
耐用期間：10年 [自己認証(当社データ)]による。

【取扱い上の注意】

- 製品の清掃には、拭いた部分が白く曇ったり、キズがつくことがあるので、シンナーやベンジンなどの溶剤や、コンパウンドなど研磨剤を含むものを使用しないこと。
- 製品に損傷を与える恐れがあるので、金属やゴムに対して強い腐食性を持つ塩素系消毒剤、または消毒剤の取扱説明書に金属・プラスチック・ゴム及び塗装のうち一つでも使

用が不適と注意書きのある消毒剤を使用しないこと。

- 製品の消毒は最小限にするよう心がけること。長時間の消毒により、外装に退色やひび割れが起こる場合や、ゴムやプラスチックが劣化する場合がある。もし、消毒により変化が現れた場合は、直ちに製品の使用を中止し、購入業者に修理を依頼すること。

【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守点検(日常点検)>

血液が付着した場合、適切な消毒を行うこと。ただし、アルコール性物質により変色する可能性があるため、清拭後は長時間放置せず、柔らかい布で拭き取る等注意すること。

**

*【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称等】

製造販売業者
クラレトレーディング株式会社
大阪府大阪市北区角田町8番1号
*大阪梅田ツインタワーズ・ノース
電話番号 06-7635-1786 **エックスエー製品グループ

製造業者 株式会社ダイケン